

第 2 回厚木市観光振興推進委員会次第

日時 平成29年10月13日（金）
午後 2 時から
場所 厚木市役所第二庁舎 15階
農業委員会会議室

1 開 会

2 挨拶

3 案 件

(1) 平成29年度事業について . . . 資料 1 - 1、1 - 2

(2) 平成30年度事業について . . . 資料 2

(3) 観光振興に係る意見交換について

4 その他

(1) 観光モニターツアーの実施について

ア 日時 平成29年11月 8 日（水）午前 9 時から午後 4 時頃まで
出発 本厚木駅南口 第一伊藤ビル前 午前 9 時

イ 行程 別添のとおり

5 閉 会

平成29年度事業の実施状況について

	実施期日	事業名	予算額(円)	事業概要	事業結果
1	4月1日(土) ～9日(日)	あつぎ飯山桜まつり	3,000,000 (委託料)	桜については、まつり直前に開花が始まり、4月の第2週に満開を迎えたが、期間中の土、日曜日のうち三日間が雨天となり、一部実施できない催しもあった。また、来場者についても、雨天の影響により昨年の43,000人から10,000人減少した。	・来場者数 33,000人 ・観客消費額 約5千万円
2	5月17日(水) ～3月7日(水) のうち9日間	健康づくり大学	500,000 (補助金)	年間9回開催予定のうち、4回開催した。梅雨と台風シーズンであるが雨天による中止もなく、申込者、参加者ともに昨年を大きく上回っており、事業の充実さを裏付ける結果を得ている。 【参考】H28年(7回開催) ・申込者 77人 ・参加者 68人 雨天による中止は2回	4回実施 ・申込者 72人 ・参加者 60人
3	4月12日(水) ～3月22日(木) のうち20日間	森林セラピー体験	200,000 (補助金)	年間20回開催予定のうち、7回開催した。昨年のこの時期は5回の雨天中止があったが、今年度は1回であり、昨年に比べ順調に事業を開催できている。引き続き広報を充実し、多くの参加者を募りたい。 【参考】H28年(14回開催) ・申込者 316人 ・参加者 210人 雨天による中止は6回	7回実施 ・申込者 122人 ・参加者 80人
4	8月5日(土) ～6日(日)	あつぎ鮎まつり	61,000,000 (委託料)	まつりの最大の目玉である花火については、昨年から協賛団体が2団体増えたことから全体30枠の構成で実施し、盛大な花火大会となった。また、新たな試みとして、シティーセールスブースの設置や鮎まつりWEEKなど8つの新規事業を展開し、イベントの活性化を図った。来場者についても、昨年の700,000人から5,000人増加した。	・来場者数 705,000人 ・観客消費額 約11億円

平成29年度事業の実施予定について（新規事業）

- 1 宿泊施設受入環境整備事業
- 2 新たな観光ルート創出事業
- 3 大山～七沢・飯山地区における回遊性促進の実証実験
- 4 体験型観光モニターツアー
- 5 自転車ラック設置事業
- 6 「おおやまめぐりルート」回遊促進事業（平成大山講事業）

1 宿泊施設受入環境整備事業

(1) 目的

インバウンドにおいて、ビザ要件の緩和やアジア諸国の観光需要の高まり、更に東京オリンピック・パラリンピックの開催決定に伴う内需喚起の高まりを受けて、平成25年に初めて訪日旅行客が1,000万人を超え、平成28年には2倍以上の2,400万人に到達するなど、非常に大きな動きを見せている状況です。

こうした中、観光先進国の実現に向けて、政府一丸、官民一体となった取組が進められており、本市としても地域経済活性化の好機と捉え、受入環境の整備促進を目的に事業展開を図るものです。

(2) 事業内容

平成28年度に改定した観光振興計画において、五つの重点的視点として「外国人観光客受入体制の強化」とそれに伴う「宿泊施設の受入体制の整備」を掲げておりますが、訪日外国人旅行客も含めた受入環境整備を充実するため、温泉旅館やホテルなど、観光産業に従事する方々を対象に、施設経営の在り方やおもてなしに関する研修を実施します。内容や回数等については、現在検討中。

(3) 予算

500,000円

(4) 実施時期

2月

2 新たな観光ルート創出事業

(1) 目的

県内において、圏央道が常磐自動車道まで開通したことにより、北関東方面が新たに集客エリアに加わったこと、また、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック協議大会の開催を控え、今後多くの旅行者の来県が期待される状況にあります。

今後、本市への誘客を図る取組として、新たな観光ルートを創出することが求められています。

(2) 事業内容

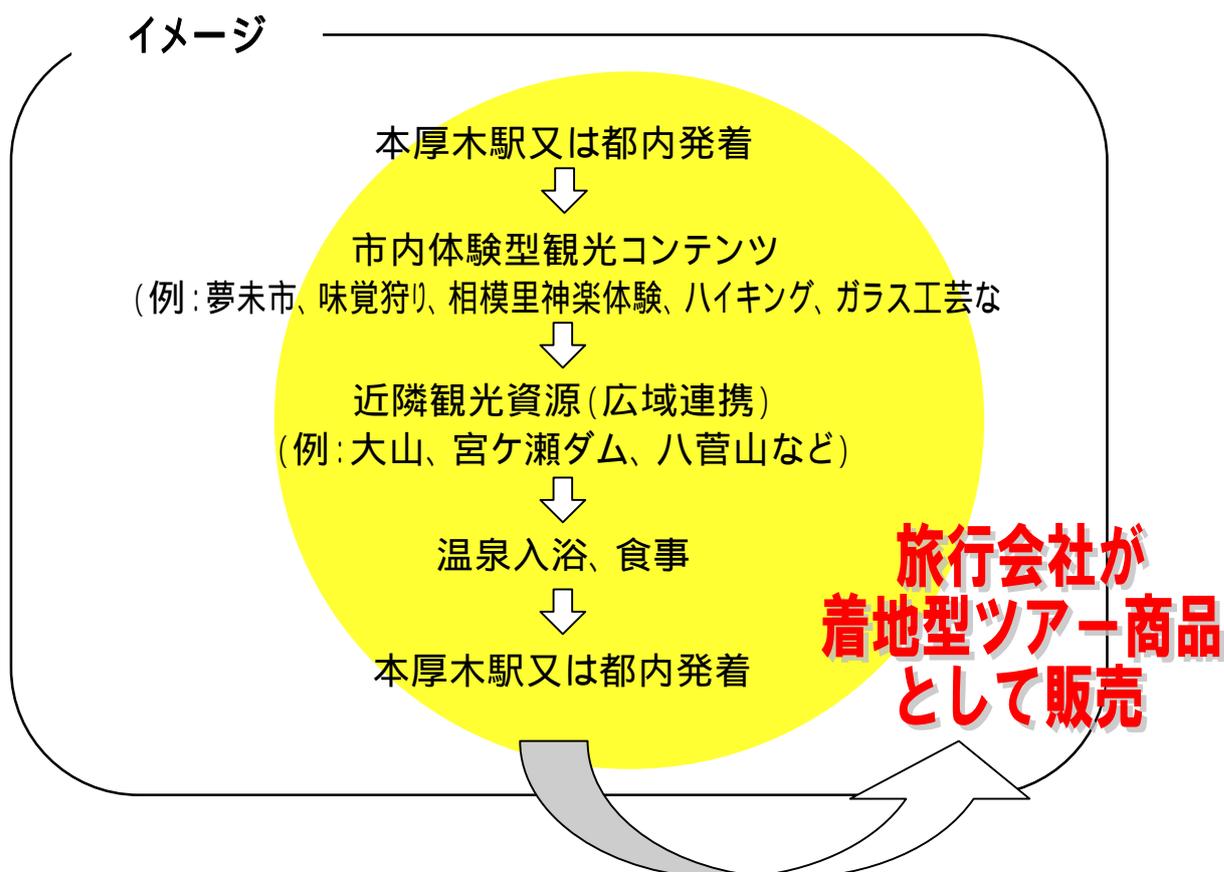
本市ならではの体験型コンテンツを中心とした着地型ツアーを、(一社)厚木市観光協会及び旅行会社の協力を得ながら企画、商品化、広告・宣伝することにより本市への誘客を図ります。

(3) 予算

1,000,000円

(4) 実施時期

1月～3月



3 大山～七沢・飯山地区における回遊性促進の実証実験

(1) 目的

大山に訪れた多くのハイカーに様々な選択肢(下山ルート)があることを示し、その中の一つとして、本市の七沢・飯山地区へ訪れていただくルートと二つの温泉郷を紹介し、本市への誘客を図ります。

更に、大山エリアにおける回遊性促進を目的にアンケート調査を行い、課題の抽出及び来訪者のニーズを把握します。

(2) 事業内容

ア 大山から七沢地区へのルート情報の発信、インセンティブ付与

大山登山口で「大山ハイカーズガイド」を配布し、大山山頂から七沢へ至るルートの情報周知を図ります。また、大山山頂や駐車場等において、アンケート調査を実施するとともに、厚木の温泉入浴無料券を配布し、厚木側への回遊を誘引します。

イ 移送車両の運行

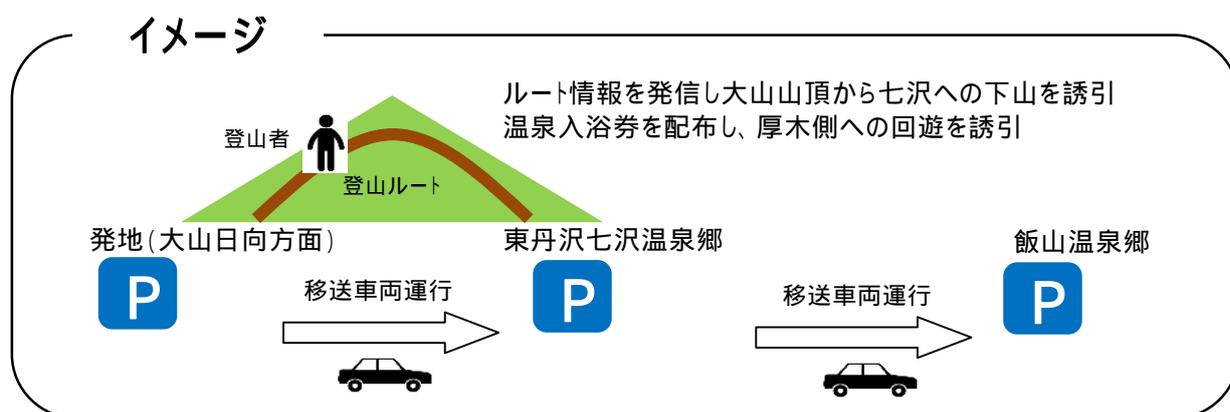
大山から伊勢原市日向方面へ下山したハイカーを七沢・飯山地区へ回遊する手段として車両を運行し、ハイカーを移送する。併せて、前段のアンケート調査を分析し、大山方面から七沢・飯山地区への移送車両に関するニーズについて把握する。

(3) 予算

1,450,000円

(4) 実施期日

11月23日(木)・24日(金)



4 観光資源体験モニターツアー

(1) 目的

厚木市が平成30年度以降の観光施策の企画・立案の参考とするため、(一社)厚木市観光協会に委託し観光モニターツアーを実施します。

(2) 事業内容

厚木市の都市型農業や地場産野菜の地産地消を観光資源としてとらえ、調理・試食を組み合わせた内容、及び広域観光の視点から、厚木市に隣接する地域の観光資源を組み合わせた内容で実施します。

(3) 予算

300,000円

(4) 実施期日

11月8日(水)

宮瀬ダム観光放流と藍染め体験
ストープ料理でランチバイキング

もっと地元が好きになる
秋のあつき満喫の旅

平成29年
11月8日(水)
本厚木市 日帰りツアー

厚木市や周辺の観光スポットを巡るモニターツアーです。秋の味覚をたっぷり味わい、ちょっと足を延ばして宮ヶ瀬ダムへ。ご家族やお友達を誘って楽しい一日をお過ごしください。
このツアーは、厚木市が旅行代金の一부를負担する観光モニターツアーです。ツアー終了後、アンケート調査への回答をお願いします。

問合せ 厚木市観光協会 電話046-240-1220

旅行代金 大人 4,980円 小児半額 ※食料・消費税込み	定員 45人 最少旅行人数 30人
--	------------------------------------

- 厚木市観光協会会員の旅行
- 現地スタッフのご案内・ご説明
- 国内旅行傷害保険代込み

旅のしおり

本厚木駅南口 第一バス 集合 9時出発

農園で収穫体験
厚木の農家さんが育てた秋野菜を収穫します。収穫した地場産野菜はお土産にお持ち帰り。

農産物直売所・夢未市でお買い物
新鮮な農産物がずらり、ジェラートの販売あり。

JAあつきでストープ料理の調理デモ&ランチバイキング **目玉企画**
いま話題のストープ料理を大橋由香さんが実演。家族で楽しめるお昼ごはん。ランチは、地産の野菜を使ったストープ料理のバイキングです。

迫力満点の宮ヶ瀬ダム観光放流
ダム争奪戦の競艇安楽川を遊覧。毎秒約100トン放水する観光放流を見学。貴重な体験です。

黒立あいかわ公園でハンカチ藍染め体験
王宮王様村で、伝統工芸「藍染め」を体験します。できた作品はお持ち帰りください。

本厚木駅南口解散 16時ごろ(予定)

日程は、天候や交通状況などによって変更になる場合がございます。

ランチバイキング(イメージ)
ストープ料理の陣取り、特産野菜を使った厚木市産町にあるレストラン「はるひごはん」のオーナーシェフ・大橋由香さんです。「はるひごはん」で焼きし、ホームパーティー、facebook、instagramをご覧ください。

申込みのご案内
10月20日(金)までに、電話またはファックスで毎日観光へ「秋のあつき満喫の旅」、住所・氏名・電話番号・人数をお知らせください。応募者多数の場合は抽選です。旅行が決定した後、旅行代金の振込先や参加される方へのお知らせ・集合場所の地図などを郵送します。10月31日(火)までに旅行代金をお振込みください。

申込みは こちら
「秋のあつき満喫の旅」、住所・氏名・電話番号をお知らせください。

旅行の取り扱い
株式会社 **毎日観光** 電話046-228-6655
243-0012 厚木市幸町10-15 ファックス046-228-8034
神奈川県厚木市厚木1-1-1 厚木市観光協会事務局 電話 046-240-1220 受付時間 9時~17時 土日祝日休み

主催 厚木市(観光振興課) 運営主体 株式会社 厚木市観光協会 協力 JAあつき 株式会社はるひ

5 自転車ラック設置事業

(1) 目的

厚木市には、世界的な自転車メーカー「スペシャライズド」やオーダーメイド自転車の「山音(やまおと)製輪所」、新興ロードバイクメーカーの「ウォークライド」といった、名だたる自転車メーカーが本社や工房を構えています。

また、近隣には宮ヶ瀬湖やヤビツ峠など関東屈指のサイクルスポットも点在することから、サイクリストをターゲットとした観光振興に大きなポテンシャルを有しています。

については、休憩地点となる市内コンビニや温泉旅館にバイクラックを設置することにより、厚木市のサイクリストに対するおもてなしの姿勢について情報発信するものです。

(2) 事業内容

市内25か所を目途にバイクラックを設置します。併せてアンケート調査を行い、事業効果を検証します。

(3) 予算

500,000円

(4) 実施時期

11月～2月



あつぎ大山グレートオーバル

あつぎの温泉を起点として、関東屈指のヒルクライムコース「ヤビツ峠」を経て大山を一周する約60kmのコース。

大きな楕円の周回をトレース出来ることから、「宮ヶ瀬・中津オーバル」とともに「あつぎグレートオーバル」として推奨している。

6 「おおやまめぐりルート」回遊促進事業（平成大山講事業）

(1) 目的

平成大山講プロジェクト（厚木市、伊勢原市、秦野市3市域連携事業）として平成26年度から推奨している、観光客が安心して楽しめる広域ハイキングルート「おおやまめぐりルート」について、これまでの取組をさらに進め、「おおやまめぐり」による地域の新たな活力に結び付ける仕組みづくりを目指すものです。

(2) 実施内容

ア（仮称）スマホアプリで大山めぐり

地域の若い世代に企画段階から関わってもらい、活用していただけるアプリを制作（平成30年度）するためのアイデアについて検討する。

イ（仮称）OYAMA Free-Charge

Wi-Fi 環境を使って、大山観光を楽しんでいただくことができるよう、スマホ充電用のコンセントを購入するとともに、ステッカーを制作し、観光事業者に配布することで、地域全体で観光客を迎えているというイメージアップにつなげる。

(3) 予算

2,380,000円（3市予算 7,140,000円）

(4) 実施時期

11月～3月

■ スマホアプリでおおやまめぐり

- ・ハイスクール アイデアソンによる発案
- ・ウォーキングイベントとアプリの連動



The diagram illustrates the process of developing a mobile app. It starts with a group of people at a 'High School Idea Contest' (ハイスクール アイデアソン). An arrow points to a smartphone displaying the 'Ooyama GO!' app. Another arrow points to a QR code sticker with the text '観光消費額アップ!' (Increase in tourism spending!).

■ OYAMA Free-Charge（仮称）

- ・ソーラー充電スタンドの設置
- ・Free-Charge用コンセントの提供



The diagram shows a solar charging station (ソーラー充電スタンド) with a solar panel (太陽電池モジュール「BLACKSOLAR」), LED lighting (LED照明), a charging socket (充電ボックス), and a battery (蓄電池). An arrow points to a QR code sticker with the text 'OYAMA Area Free Charging Spot' and 'コンセント、ご自由にお使いいただけます。' (You can use the socket freely).

平成30年度厚木市産業振興部観光振興課 概算要求事業一覧（平成29年8月末現在）

厚木市観光振興条例第6条（観光関係団体の役割）

No.	戦略	柱	施策の方向	事業 （上段：親事業 下段：子事業）	事業内容	H30実施計画	H29（参考）
							予算額（千円）
1	第二	4	(1)	観光協会補助金 観光協会補助金	首都圏近郊に位置し、自然に恵まれ、温泉等の観光資源が豊かな本市の優位性と特性を生かしながら、各種誘客事業や調査研究事業を展開するとともに関係団体と協力し、観光情報の提供や観光PRに積極的に取り組み、本市の観光振興の促進に努める。	本市観光振興の推進主体である（一社）厚木市観光協会に対し補助金の交付を通じて、観光関連団体や事業者との連携を図るとともに、観光情報の発信に努めるなど、本市の観光産業の振興を推進する。	27,251

厚木市観光振興条例第8条（基本計画）

No.	戦略	柱	施策の方向	事業 （上段：親事業 下段：子事業）	事業内容	H30実施計画	H29（参考）
							予算額（千円）
1	第二	5	(3)	観光振興条例推進事業費 観光振興条例推進事業費	厚木市観光振興条例の運用の点検や条例に定める基本計画の進捗管理等を実施する。	厚木市観光振興推進委員会において、条例の運用状況や条例に定める基本計画の推進について検討を行う。	334

厚木市観光振興条例第9条（魅力ある観光地の形成）

No.	戦略	柱	施策の方向	事業 （上段：親事業 下段：子事業）	事業内容	H30実施計画	H29（参考）
							予算額（千円）
1	第一	1	(1)	観光行事推進事業費	本市最大のイベントである「あつぎ鮎まつり」を8月の第一土曜及び日曜日に開催する。市民参加型の催し物を取り入れる等、より一層内容の充実を図る。	第72回あつぎ鮎まつり 平成30年8月4日（土）・5日（日）（予定） あつぎ鮎まつり大花火大会、ダンスレジェンド、鮎つかみどり、民謡おどり、中央公園ステージほか	61,000
	第二	4	(1)	あつぎ鮎まつり開催事業費			
2	第一	1	(1)	観光行事推進事業費	当市の代表的な観光地として市民や県内外の方々に親しまれている飯山白山森林公園桜の広場を中心に、桜の開花期に「あつぎ飯山桜まつり」を開催し、地域観光の振興と親しまれる観光地づくりに努める。	第54回あつぎ飯山桜まつり 平成30年3月31日（土）～4月8日（日）（予定） 飯山白龍太鼓、白龍の舞、桜輿、飯山花音頭、ダンスコンテスト、あつぎ太鼓まつり、トレイルランニング大会ほか	3,000
	第二	4	(1)	あつぎ飯山桜まつり開催事業費			
3	第一	1	(1)	観光行事推進事業費	各地域のまつりへの観光客の誘致拡大を通じ、まつりの充実と活性化により地域観光の振興を図る。	厚木観光桜まつり、あつぎ飯山あやめ祭り、あつぎ飯山秋の花まつり、あつぎ七沢森のまつりについて、補助金支出事務を通じてまつりを支援する。	600
	第二	4	(1)	地域観光まつり事業補助金			
4	第一	1	(2)	観光資源活性化事業費	花の里山づくりや名所づくりを行い、地域資源を利用した地域の活性化を推進する。	四季折々の花を観光資源の一つとして位置付け、入込観光客の増加を図るため、花の種や苗を中心に地域活動団体へ支給する。	532
				花の里創出事業費			
5	第一	1	(2)	観光資源活性化事業費	飯山・七沢地区の地域活性化を目的に、新たな観光資源を創出を図るため、地域活性化団体へ補助金を交付し、活動を支援する。	飯山及び七沢の地域活性化を目的に、地域活性化団体へ補助金を交付し、新たな観光資源の創出を図る。	500
				地域活性化推進事業補助金			

厚木市観光振興条例第10条（地域の特性をいかした観光地の形成）

No.	戦略	柱	施策の方向	事業 (上段：親事業 下段：子事業)	事業内容	H30実施計画	H29(参考)
							予算額(千円)
1	第一 第一 第三 第三	1 3 6 7	(1) (4) (1) (1)	七沢地区観光拠点整備事業費	多くの観光資源を抱える七沢地区において、魅力ある観光地づくりを推進するため、地域の観光資源の整備を進める。	地域の観光事業者である七沢観光協会と協議し、ハイキングコース等の整備を進める。	1,000
				七沢地区観光拠点整備事業費			
2	第一	1	(2)	観光施設維持管理事業費	ハイキングコースの整備清掃、観光トイレの清掃、飯山小動物園の管理、七沢観光案内所の維持管理、観光歓迎塔等の観光施設の維持管理。	ハイキングコースの整備清掃、観光トイレの清掃、飯山小動物園の管理、七沢観光案内所の維持管理、観光歓迎塔等の観光施設の維持管理等を行う。	9,674
				観光施設維持管理事業費			
3	第一	1	(2)	観光施設維持補修事業費	観光トイレ及び七沢・飯山地区以外のハイキングコースの維持補修を行う。	東丹沢七沢観光案内所の外壁改修工事や観光トイレ及び七沢・飯山地区以外のハイキングコースの整備・維持補修を行う。	5,288
				観光施設維持補修事業費			
4	第一 第三 第三	1 6 7	(2) (1) (1)	飯山地区観光拠点整備事業費	多くの観光資源を抱える飯山地区において、魅力ある観光地づくりを推進するため、地域の観光資源の整備を進める。	地域の観光事業者である飯山観光協会と協議し、飯山庫裡橋に設置の観光歓迎塔及びハイキングコースの整備を進める。	2,500
				飯山地区観光拠点整備事業費			
5	第一 第二 第三	2 5 7	(3) (1)	観光事務経費	入込観光客調査を行うとともに、観光関係団体への負担金の支出を通じ、本市の観光振興の推進を図る。	入込観光客調査を実施する。県観光協会や丹沢大山各協議会等の会員として、魅力ある観光地の様々な宣伝・紹介をすることにより観光客の誘致を図る。また、平成大山講プロジェクトとして観光アプリの制作や観光客のための携帯電話用充電コンセントを整備する。	3,440
				観光事務経費			
6	第一	3	(4)	シティセールス推進事業費	本市の魅力となる優れた食を「あつぎ食ブランド」として認定し、市内外に積極的に情報発信するなど、シティセールスのツールとして効果的に活用することにより、本市の知名度の向上やイメージアップを図る。	あつぎ食ブランド選定委員会を開催し、OECフードの認定及び更新を行う。	320
				食ブランド推進事業費			
7	第二	5	(2)	フィルム・コミッション事業費	映画やドラマの撮影を支援・誘致することにより、シティ・セールスの推進を図るとともに、市民エキストラを登録・紹介することにより、市民参加による地域振興等を図る。	ロケ地使用についての相談窓口となるとともに、ロケ地管理者へ正確・迅速に引継ぎ、撮影の利便を図る。また、必要に応じて、ロケハンやロケ立会いを行う。市民エキストラの登録更新を行うとともに、エキストラの募集に際し登録者に対し情報提供する。	0
				フィルム・コミッション事業費			

厚木市観光振興条例第16条（新たな観光旅行の分野の開拓）

No.	戦略	柱	施策の方向	事業 (上段：親事業 下段：子事業)	事業内容	H30実施計画	H29(参考)
							予算額(千円)
1	第一	1	(1)	健康づくり村推進事業費	厚木の特徴ある里山、豊かな自然環境を有効に活用した健康づくりがテーマの体験学習など健康づくり推進事業の実施団体に対して補助金を交付し、活動を支援する。	飯山・七沢地区の温泉郷を利用した健康づくり大学の開催、森林セラピー基地のPR、森林セラピーツアーの実施等の体験学習プログラムを充実、実施する。	700
				健康づくり村推進事業補助金			
2	第三	7	(1)	インバウンド推進事業費	宿泊施設の稼働率向上のため、観光事業者を対象とした事業(研修会等)を実施し、本市観光の振興を図る。	市内ホテル及び温泉旅館等の観光事業者を対象に、付加価値をもたらすため事業を実施する。内容は未定。	500
				宿泊施設受入環境整備事業補助金			
3	第三	7	(1)	インバウンド推進事業費	本市への誘客を図るための着地型ツアーを(一社)厚木市協会及び旅行会社の協力を得ながら企画、商品化することにより、本市の観光振興の推進を図る。	本市ならではの体験型コンテンツを中心とした着地型ツアーを(一社)厚木市協会及び旅行会社の協力を得ながら企画、商品化する。なお、将来的には旅行会社主催のツアーとなるよう旅行会社に働きかける。また、外国人ビジネス客を対象としたモニターツアーを実施し、外国人のニーズについて調査する。	1,000
				新たな観光ルート創出事業費			

厚木市観光振興条例第17条（観光情報に関する広報宣伝等）

No.	戦略	柱	施策の方向	事業 (上段：親事業 下段：子事業)	事業内容	H30実施計画	H29(参考)	
							予算額(千円)	
1	第一	1	(1)	シティセールス推進事業費	本市の魅力となる地域資源や特性などを市内外へ効果的に情報発信するとともに、市民協働によるシティセールスの取組を推進する。	マスコットキャラクターあゆコロちゃんを積極的に活用し、豊かな自然や温泉などの豊富な観光資源などの魅力を市内外に効果的に発信する。更に、本市の魅力ある食である「あつぎ食ブランド」について、広く効果的に情報発信する。	4,794	
				第一				(1)
				第一				(2)
				第一				(3)
				第三				(4)
2	第一	3	(1)	観光案内事業費	観光地の案内業務、宿泊施設の紹介宣伝等を実施し、観光客へのサービスの向上と誘客拡大に努める。	本厚木駅案内所及び東丹沢七沢観光案内所において、観光地、観光施設(公共施設等の案内を含む。)の紹介、旅館、ホテル等宿泊施設の紹介、観光みやげ品、観光特産品等の紹介、その他誘客の拡大を図るための観光案内を行う。	5,653	
				観光案内事業費				
3	第二	4	(3)	観光宣伝事業費	本市の有する豊かな自然や温泉など、魅力的な観光資源について、イベントを通じて広く紹介・宣伝することにより、本市への誘客を図る。	アウトドアメーカーや自転車メーカーと連携したアウトドア関連のイベントの実施を通じ、多くの人々に本市の魅力的な観光資源についてPRを行う。実施時期は未定。	2,250	
				第三				(3)
				第三				(3)
4	第一	3	(4)	観光宣伝事業費	本市の観光情報を広く紹介宣伝し、観光客の誘致拡大を図るとともに、ターゲットを絞った効果的な情報発信の取組を進める。	「厚木大山ハイカーズガイド」及び観光パンフレットの改訂及び増刷を行うとともに、高速道路SAに設置する。また、ホテルに宿泊するビジネス客をメインターゲットとした観光パンフレット(日本語版・英語版)作成する。	3,167	
				第三				(1)